

# フリーランス安心ネット労災保険

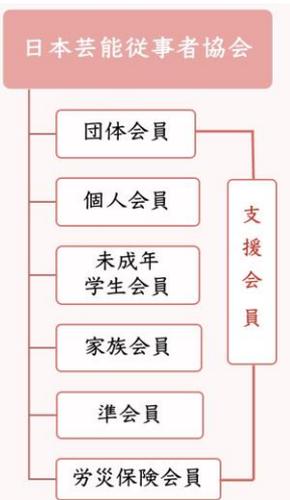
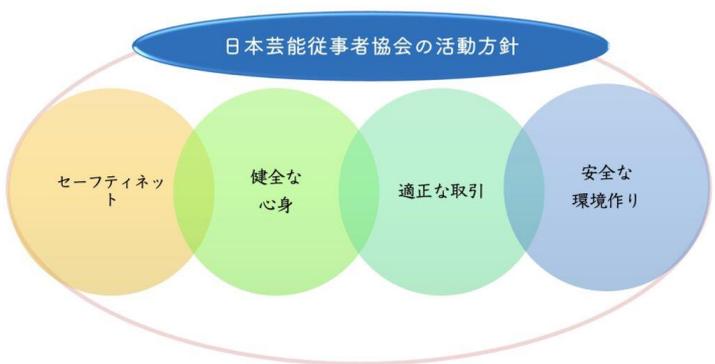
令和 8 年 3 月 19 日

一般社団法人日本芸能従事者協会  
全国芸能従事者労災保険センター



「フリーランス安心ネット労災保険」の母体法人にあたる一般社団法人日本芸能従事者協会は、芸術・芸能分野で働く人とフリーランスのセーフティネットを支援する互助組織で、令和3年の特別加入労災保険の対象拡大を機に、特別加入団体の「全国芸能従事者労災保険センター」設立したことをきっかけに設立いたしました。

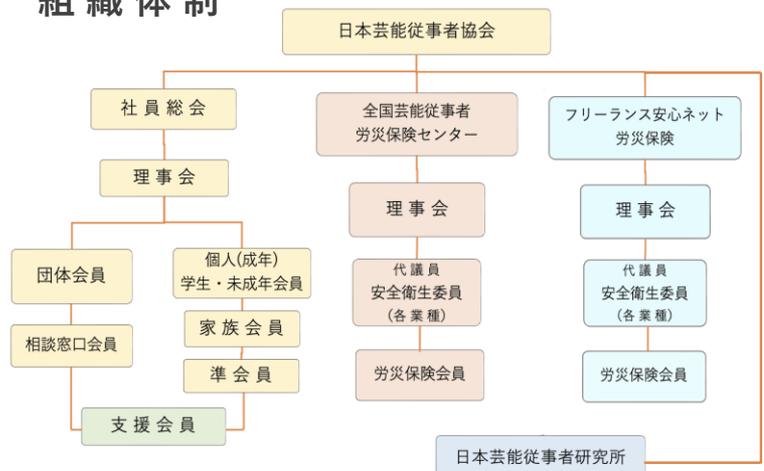
## 団体概要



## 団体規模 令和8年3月16日現在

- 団体会員・個人会員等 (有料)
  - 総数：約 52,250人
  - 労災保険会員 (特別加入者)
    - ・ 芸能従事者：980人
    - ・ 特定フリーランス事業者：22人 (令和8年3月3日時点)
  - 団体会員の詳細：
    - 各種実演団体、各職能団体、映画撮影の座組 (出演者とスタッフ)、芸能プロダクション、劇団ほか
- ※本資料における事故・傷病の分析対象は、労災保険特別加入者である。

## 組織体制



## フリーランス安心ネット労災保険 (令和7年9月1日東京労働局承認)

- 都道府県別内訳：
  - 東京都：9名 / 神奈川県：3名 / 兵庫県：2名 / 愛知県：2名 / 広島県：1名 / 長野県：1名 / 千葉県：1名 / 大阪府：1名 / 青森県：1名 / 埼玉県：1名
- 職種別内訳 ※芸能関係作業従事者には該当しないことを確認済み。
  - ・ 教育・研究・講師業 (大学講師、各種講師、翻訳・通訳、著述)：5名
  - ・ 文筆・編集・制作 (作家、著述家、ライター、編集、校正、企画編集)：4名
  - ・ 音楽関連 (音楽講師、アンサンブル指導、ブライダル演奏・聖歌隊)：2名
  - ・ 美術・造形 (人形作家、イラストレーター、作品制作・展示設営)：2名
  - ・ 企画・制作 (イベント企画、ワークショップ企画運営、制作進行管理)：2名
  - ・ 舞台・イベント技術 (照明、音響、テクニカルディレクション、設営)：4名
  - ・ 施設・設備管理 (スタジオ設備管理、設備トラブル対応)：1名
  - ・ その他専門業務 (造園、営業サポート、ライターマネジメント等)：2名

※代議員(兼・安全衛生委員)は、各地方ブロックに1名以上配置し、各職能(芸能：俳優・映画監督・奇術・サーカス・演芸・照明・スタント・演出・劇作・アクセシビリティ/手話通訳等、フリーランス：講師、美術家等、各職種の実務者・職能団体の長等が、労災事故発生時の状況確認、相談対応、各職種の実態に即した安全衛生上の助言等を行う。

## フリーランス全般への支援のための活動実績

区分	取組名	実施時期	形式・場所	人数	協力・説明	対象	概要
勉強会	労災・安全衛生の定期勉強会	R5～継続全24回	双方向のオンライン	延べ550人	実務経験者、専門家	フリーランス全般	労災制度・事故防止・安全衛生
勉強会	フリーランス法⑤違反勧告事例とインボイス、下請法	R7.9.12	双方向のオンライン	53人	公正取引委員会	フリーランス全般	フリーランス法とインボイスの違反事例と改正下請法
勉強会	フリーランス法④事例編	R7.6.26	双方向のオンライン	58人	公正取引委員会	フリーランス全般	フリーランス法の違反事例
勉強会	フリーランス法③Q&A編	R6.9.9	港区立産業振興センター	108人	公正取引委員会／厚生労働省	フリーランス全般	現場質問への具体対応
勉強会	フリーランス法②深掘り編	R6.6.17	港区立産業振興センター	314人	公正取引委員会／厚生労働省	フリーランス全般	実務論点の整理
勉強会	フリーランス法①初心者編	R6.2.19	港区立産業振興センター	473人	公正取引委員会／厚生労働省	フリーランス全般	制度の基礎理解
相談	相談窓口	R7-常設	電話、メール、目安箱	延べ約300件 (設立時よりの累計)	産業医、労働安全衛生コンサルタント、ハラスメント防止コンサルタント、産業カウンセラー、社労士等	フリーランス全般	労災・安全衛生、契約・報酬等の相談
調査	ハラスメント実態アンケート	R5.6-7	オンライン調査	418人	日本芸能従事者協会	ハラスメント防止に関心のあるフリーランス	フリーランスの就業環境に関する実態把握
調査	AIリテラシーのアンケート	R5.5-6	オンライン調査	26,891人	日本芸能従事者協会	クリエイター、フリーランス	AIによる雇用機会の移行等
勉強会	ドライバー労働時間規制勉強会	R5.8.6	都内イベントスペース	46人	国交省／厚労省	労働者・フリーランス全般	運転者の労働実態と労働時間規制の改正について
勉強会	フリーランス新法 パブコメ勉強会	R4.9.25	双方向のオンライン	約40人	研究者	フリーランス全般	制度設計への参画

## 災害防止教育の内容

本取組は、当団体がこれまで継続的に実施してきた相談対応、調査、研修運営、産業医や心理士等の専門家との連携および行政対応を通じて得られた知見を基に、実務の中で整理・改善を重ねながら実施している取組みです。

目的	主な内容	実施時期・頻度	実施・周知方法
安全衛生教育	労災保険制度の利用方法、安全衛生の基本概念、安全行動の基礎、災害防止の基本	原則月1回（年度末に総括研修を実施）	双方向のオンライン研修、アーカイブ動画
健康管理の推進	ヘルスリテラシー向上、健康診断受診促進、ストレスチェック受検促進、疲労蓄積度セルフチェック、健康管理ガイドラインの作成	通年・随時	ホームページ、研修、LINE、SNS
相談体制の整備	産業医相談、心理士相談、労災制度相談	通年・随時	相談窓口、電話、オンライン
災害防止（一般）	転倒・段差・高所作業、宙吊り・ワイヤーアクション等の安全対策の注意喚起	通年・随時	研修、ポッドキャスト、周知資料
災害防止（熱中症）	安衛則612条改正を踏まえた熱中症対策、セルフチェック、予防方法、初期対応	夏季中心	文書、ホームページ、研修、動画、SNS
過労死防止・メンタルケア	長時間労働防止、過労死等防止制度の理解促進、精神的負荷への対応、グリーンケア	通年・随時	相談対応、研修、SNS
ハラスメント防止	ハラスメント研修、再発防止プログラム、相談窓口「ハラスメント110番」の設置	業種ごと年1～2回、常設	現地・双方向のオンライン研修、電話・LINE相談
専門家による助言	産業医等による現場視察、安全対策に関する助言・提言	必要に応じ	現地、文書、ホームページ
行政通知の周知	厚労省、文化庁、労働局、中災防等の通知の共有	発出都度	文書、ホームページ、SNS
調査・実態把握	災害・健康リスクの把握	必要に応じ	アンケート調査、ヒアリング

※災害防止教育の目的・概要・頻度・周知方法は次頁に記載。

## 災害防止教育・災害防止措置の実施状況および今後の実施予定（一覧）

実施日	実施ブロック	実施方法	対象者	概要
R7.9.13	各ブロック	双方向オンライン	心理的負荷が高く健康障害の発生が懸念される者	グリーフケア（心理的負荷の軽減・自殺予防）
R7.10.7	各ブロック	双方向オンライン	心理的負荷が高く健康障害の発生が懸念される者	グリーフケア（心理的負荷の軽減・自殺予防）
R7.10.31	各ブロック	双方向オンライン	被災の危険が認められる作業に従事する者	定期勉強会（労災制度および安全衛生）
R7.11.9	各ブロック	双方向オンライン	心理的負荷が高く健康障害の発生が懸念される者	グリーフケア（心理的負荷の軽減・自殺予防）
R7.12.12	各ブロック	文書発出	電気作業等の危険作業に従事する者	電気作業における安全対策の注意喚起
R7.12.29/1.25	各ブロック	双方向オンライン	被災の危険が認められる作業に従事する者	定期勉強会（労災制度および安全衛生）
R8.1.5	各ブロック	調査	被災の危険が認められる作業に従事する者	労災および安全衛生に関する調査
R8.1.6	各ブロック	双方向オンライン	全加入者	フリーランス法に基づく就業環境整備に関する勉強会
R8.1.11	各ブロック	双方向オンライン	心理的負荷が高く健康障害の発生が懸念される者	グリーフケア（心理的負荷軽減・自殺予防）
R8.1.18	各ブロック	双方向オンライン	被災の危険が認められる作業に従事する者	年度末安全研修（災害防止および健康管理）
R8.2.12/3.30	各ブロック	双方向オンライン	被災の危険が認められる作業に従事する者	定期勉強会（労災制度および安全衛生）
継続的に実施している安全衛生活動				
通年	関東・中部・関西	常設	全加入者	健康診断受診のための医療機関（クリニック）との提携
通年	各ブロック	対面・電話・双方向オンライン	被災の危険が認められる作業に従事する者	産業医相談・現場視察、臨床心理士電話相談、専門健康心理士相談、ハラスメント110番
継続	各ブロック	送付	全加入者	ニュースレター配信（事故防止対策等）
毎週2回程度	各ブロック	送付	登録加入者	LINEメッセージ配信（安全対策の呼びかけ等）
これから実施予定の安全衛生活動				
通年	各ブロック	電話・双方向オンライン等	全加入者	産業医相談、臨床心理士電話相談、専門健康心理士相談、ハラスメント防止コンサルタント「ハラスメント110番」
通年	関東・中部・関西	常設	被災の危険が認められる作業に従事する者	健康診断受診のための医療機関（クリニック）との提携
月1回	各ブロック	双方向オンライン	被災の危険が認められる作業に従事する者	定期勉強会（労災制度および安全衛生）
隔月	各ブロック	双方向オンライン	心理的負荷が高く健康障害の発生が懸念される者	グリーフケア（心理的負荷軽減・自殺予防）
随時	各ブロック	双方向オンライン	全加入者	ニュースレター配信（事故防止対策等）
毎週2回程度	各ブロック	双方向オンライン	登録加入者	LINEメッセージ配信（安全対策の呼びかけ等）

## 対面の相談可能な47都道府県のシェアオフィスのリスト

	オフィス名	住所
北海道	リージャス札幌大通ビジネスセンター	札幌市中央区大通西1丁目14-2
青森	リージャスアクア青森スクエアBC	青森市長島2-13-1
岩手	リージャス盛岡中央通BC	盛岡市中央通1-7-35
宮城	リージャスクラックス仙台BC	仙台市青葉区一番町3-3-1
秋田	リージャス秋田駅前BC	秋田市中通2-2-32
山形	リージャス山形駅前BC	山形市幸町2-9
福島	リージャス郡山駅前BC	郡山市駅前2-3-7
茨城	リージャスつくばBC	つくば市吾妻1-5-7
栃木	HOTTAN	宇都宮市千波町17-11
群馬	リージャス高崎BC	高崎市栄町3-11
埼玉	リージャス大宮ウエストBC	さいたま市大宮区桜木町1-266-3
千葉	リージャス千葉BC	千葉市中央区富士見1-14-13
東京	リージャス丸の内パシフィックセンチュリー	千代田区丸の内1-11-1
神奈川	リージャス横浜ランドマークBC	横浜市西区みなとみらい2-2-1
新潟	リージャス日本生命新潟BC	新潟市中央区東大通2-4-10
富山	リージャス富山電気ビルBC	富山市桜橋通り3-1
石川	リージャス金沢パークビルBC	金沢市広岡3-1-1
福井	Idea Sync	越前市天王町3-21
山梨	ラボこうふ	甲府市堀之内町840-1
長野	リージャス長野駅前BC	長野市栗田1000-1
岐阜	INNOVATOR'S VILLAGE	岐阜市藪田南3-7-20
静岡	リージャス静岡葵タワーBC	静岡市葵区紺屋町17-1
愛知	リージャス名古屋栄ガスビルBC	名古屋市中区栄3-15-33
三重	リモートベース近鉄四日市	四日市市諏訪栄町5-4

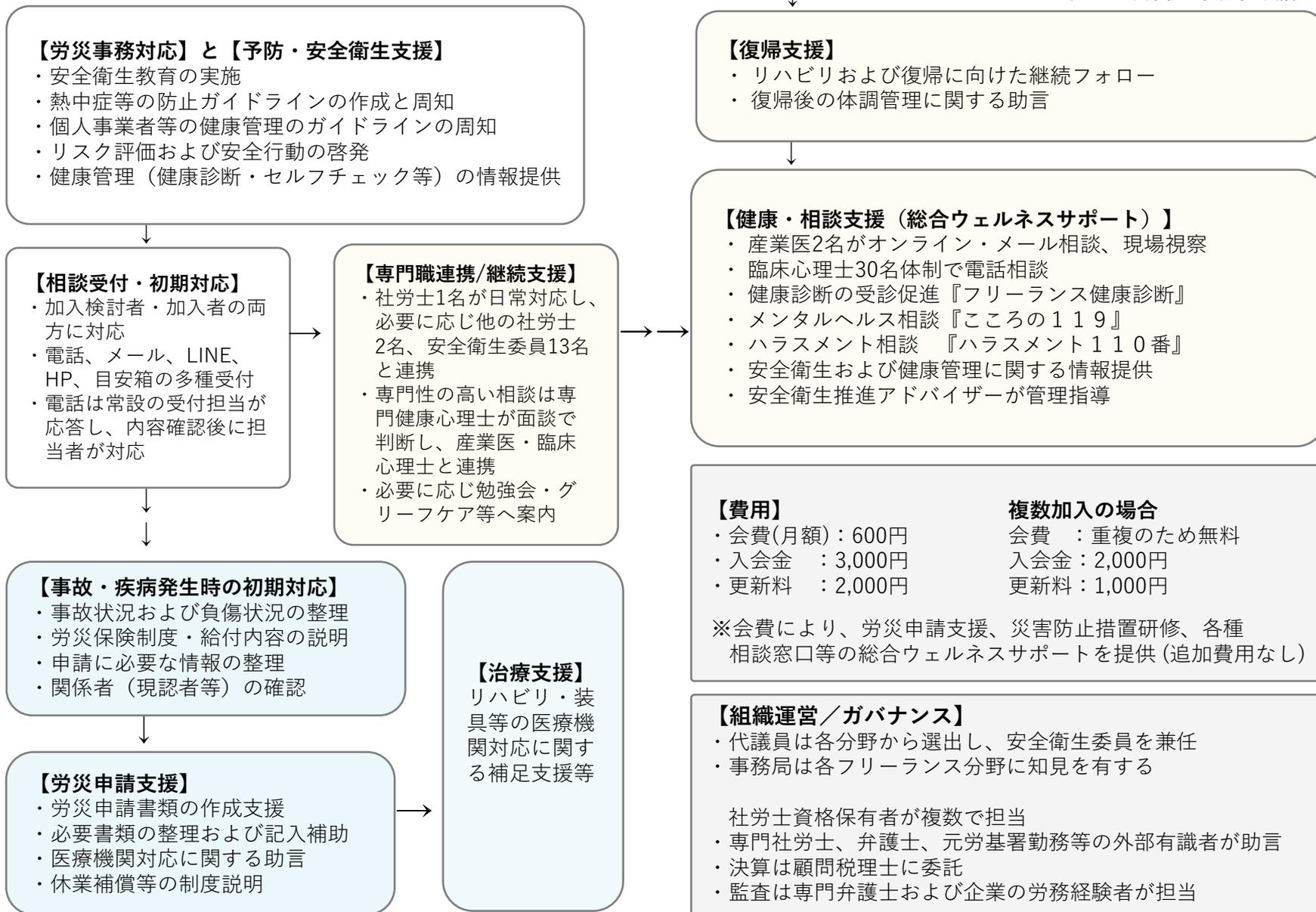
	オフィス名	住所
滋賀	快活CLUB草津新浜店	草津市新浜町417-1
京都	リージャス京都四条烏丸BC	京都市下京区函谷鉾町101
大阪	リージャス大阪国際ビルBC	大阪市中央区安土町2-3-13
兵庫	リージャス神戸国際会館BC	神戸市中央区御幸通8-1-6
奈良	YAMATO BASE 奈良	奈良市三条町475
和歌山	Office Cloud 9	西牟婁郡白浜町才野1622-1086
岡山	リージャス岡山第一セントラルBC	岡山市北区本町6-36
広島	リージャス広島稲荷大橋BC	広島市中区橋本町9-7
鳥取	えきまえwifiテラス	鳥取市栄町752
島根	快活CLUB松江店	松江市学園1-1-1
山口	快活CLUB宇部中央店	宇部市中央町3-16-46
徳島	くらまち	徳島市佐古四番町4-15
香川	リージャス高松BC	高松市寿町2-2-10
愛媛	リージャス松山市駅前BC	松山市千舟町4-3-7
高知	カラオケ館 高知追手筋店	高知市追手筋1-6-8
福岡	リージャス福岡天神スカイホールBC	福岡市中央区天神1-4-1
佐賀	快活CLUB佐賀兵庫店	佐賀市兵庫南4-332
長崎	リージャス長崎BizPORT BC	長崎市元船町9-18
熊本	リージャス熊本下通BC	熊本市中区下通1-3-8
大分	OITA MIDTOWN	大分市中央町1-4-24
宮崎	リージャス宮崎橋通BC	宮崎市橋通東4-1-4
鹿児島	リージャス鹿児島中央駅前BC	鹿児島市武1-2-10
沖縄	リージャスJR九州那覇ビルBC	那覇市久米2-3-15

※このほか、全国に約1300カ所の相談対応可能なオフィスがあります。

本拠地（東京）から遠い場所での依頼があった場合には、従来からの全国的な分布性を活かし、各都道府県において相談対応が可能な安全衛生委員と連携して対応します。

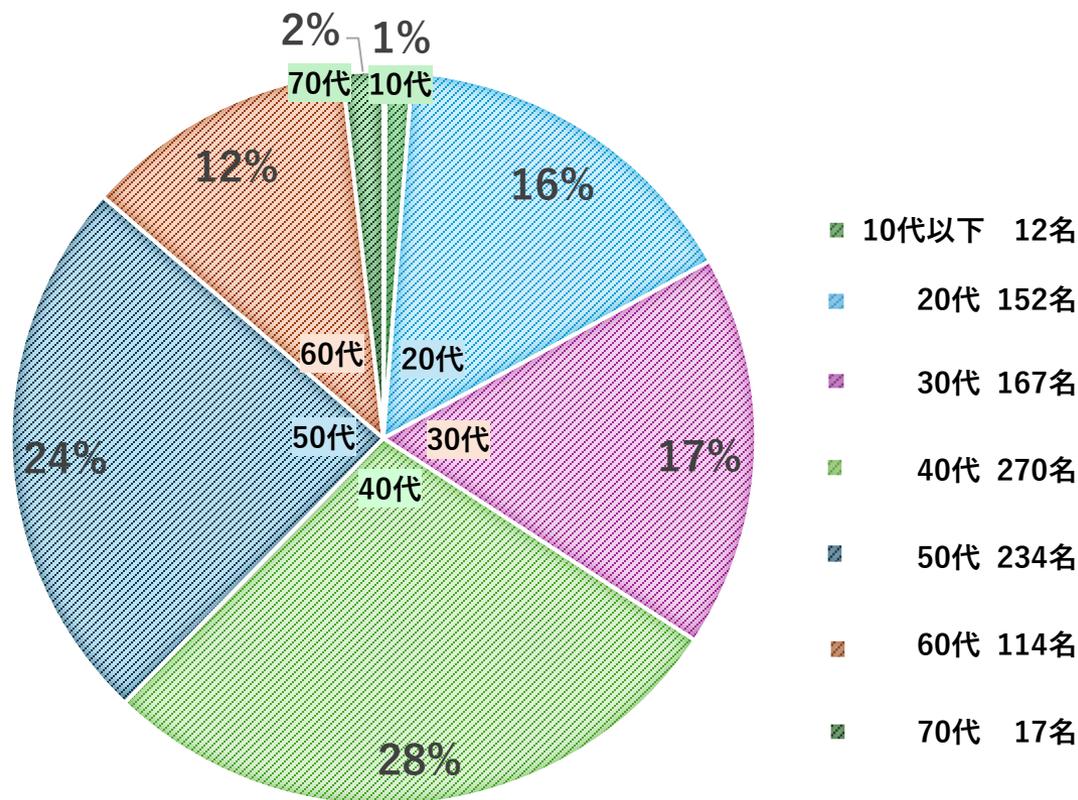
# 支援 ー支援と相談体制ー

黄色：安全衛生・予防支援  
 青色：労災事務・事故対応支援



## (参考) 全国芸能従事者労災保険センターにおける加入者の年齢分布

芸能分野のフリーランスの事故傾向を把握することで、フリーランス事業者の災害防止措置（周知・教育、KY等）に活用する基礎資料としています。



### 特徴

- 児童について
  - ・10代以下の加入が1.2%存在
  - ・一般産業とは異なり、就業年齢の下限が低い。
- エイジング世代
  - ・60代以上が13.6%存在
  - ・定年制度がないため、高年齢層が多い。
  - ・60代以上も継続して就業・加入している。
- 全年齢層にわたる就業構造
  - ・8歳から76歳までの、各年齢層に応じた幅広い安全対策が必要

※ 年齢層、職種、就業形態等の実態データを継続的に把握。

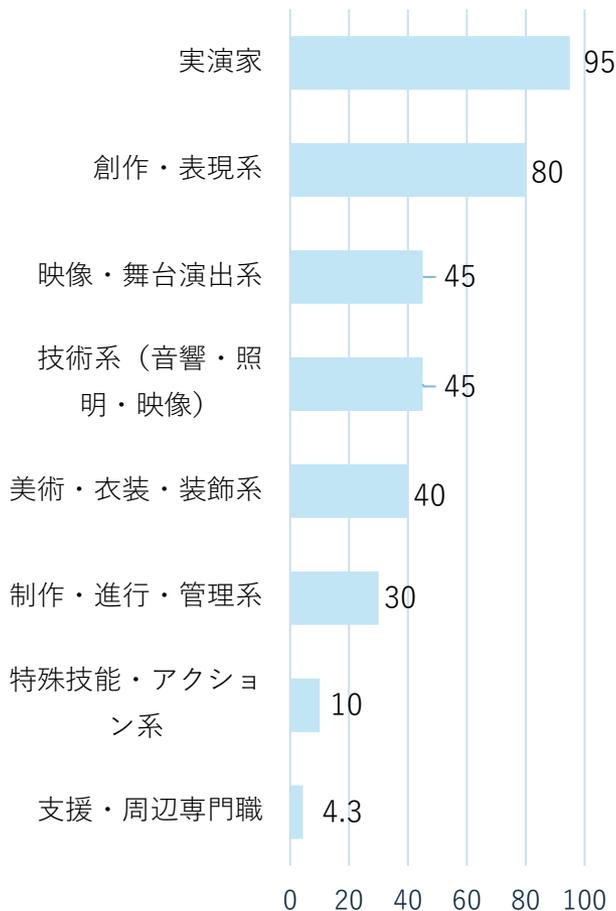
※ 集計時点での加入総人数が966名のため、総数は966名となっています。

## (参考) 全国芸能従事者労災保険センターにおける加入者の被災状況

芸能分野のフリーランスの事故傾向を把握することで、フリーランス事業者の災害防止措置（周知・教育、KY等）に活用する基礎資料としています。

### 職種別労災危険度表

#### 職種分布（大分類）



作業の種類	具体的な職種・作業	主な作業特性	労災危険度	主なリスク
A 身体負荷型	ダンサー、アクション俳優、殺陣、舞台進行	身体運動 反復動作	5 (高)	転倒 肉離れ
B 高所・重量型	照明、音響、大道具、舞台機構、LED設営	設営・高所 重量物	5 (高)	墜落 腰部負傷
C 長時間拘束型	制作、助監督、進行、プロデューサー	長時間 待機	4 (やや高)	過労 精神障害
D 反復・精密型	編集、DIT、VE、音声、楽器テクニシャン	反復 集中作業	3 (中)	腱鞘炎
E 対人・精神型	俳優、司会、タレント	対人緊張 評価	3 (中)	強度のストレス
F 移動・屋外型	ロケ撮影、車両、イベント、屋外公演	移動 屋外環境	4 (やや高)	熱中症 交通事故

※この職種分布は全加入者を約350職種を8類型に整理しています。  
 ※本分類は実態把握を目的とした整理であり、各分類には複数職種を含んでいます。なお複数職種（概ね4～10種）を横断して就業するケースが多いです。

※本分類および危険度は、加入者から報告があり、労働基準監督署に労災申請を行った事故・疾病事案を整理したものです。

## (参考) 全国芸能従事者労災保険センターにおける芸能従事者の事故・疾病の類型

芸能分野のフリーランスの事故傾向を把握することで、フリーランス事業者の災害防止措置（周知・教育、KY等）に活用する基礎資料としています。

事故類型	割合	内容
転倒・落下	45%	仮設足場、段差、高所、暗転環境
身体負荷・筋骨格系障害	25%	演技・走行・舞踊 重量物取扱い、過密日程
機材・装置による事故	15%	照明・音響等 舞台装置の設営・撤去
移動中・交通事故	7%	業務移動・買出し・同行等
環境要因 (熱中症等)	5%	野外撮影、作業環境由来
精神的健康障害	3%	ハラスメント、 過重労働等

傷病類型	割合	内容
捻挫・打撲	30%	転倒・段差・舞台構造・ 暗転環境
骨折	15%	高所作業、足場、転落事故
筋・腱損傷	15%	走行・舞踊・アクション・ 反復演技・反復動作
腰部障害	10%	重量物取扱い、長時間拘束
頭部・顔面外傷	8%	機材・器具・転倒による衝撃
眼・感覚器障害	5%	照明・撮影による目の酷使
環境・アレルギー	5%	熱中症、蜂刺症、蕁麻疹等
精神的健康障害	7%	ハラスメント、過重労働等
その他・不明	5%	個別性の高い傷病等

※令和7年度4月1日から1月25日まで／合計48件

※本資料は労災補償給付申請に至った事例を対象としており、このほか、相談段階で把握されたものの申請に至らなかった事例が多数存在しています。

## ○ 本団体が目指すこと（今後の展望）

現場に即した労災保険の活用と安全対策を通じ、フリーランスに対する包括的なセーフティーネットを目指す。

### 1. 地域別の全国対応体制

母体法人の全国的な分布を活かし、各地方ブロックに安全衛生委員を置く体制を整備する。

### 2. 個別の契約事情に応じた柔軟な判断と支援

契約形態や受託方法が多様・複雑なフリーランスの実態を踏まえ、契約書が存在しない場合も含め、加入対象性の判断基準を運用面で応用し、個別支援を行う。

### 3. 伝統的慣習への配慮と安全意識の醸成

徒弟制度など、労災保険が馴染みにくい慣習が残る分野においても、労災保険制度と安全対策を適切に活用できるよう、段階的な理解促進と危機意識の育成を図る。

### 4. 保健活動・災害防止の横断的展開

これまで芸能従事者向けに実施してきた、保健活動および災害防止の取り組み（産業医体制、ストレスチェック、心理職相談、健康診断、ハラスメント対策、グリーンケア等）を、新たなフリーランス加入者にも展開していく。

